

組合員の「声」をもとに自己改革を進める

組合員の「声」を、事業や活動に反映し、自己改革をこれからもすすめていくため、JAは組合員との対話を重視しています。

具体的には、組合員宅の全戸訪問を行い、いただいた声をJAの事業の改善につなげる取り組み（事例：JAあいら）や、担い手のもとに出向いて意見交換を行い、農業所得増大のサポートにつなげる取り組み（事例：JAとびあ浜松）などを実施しています。

また、「JAの自己改革に関する組合員調査」の実施にあたっては、JA役職員が組合員の方と可能な限り直接お会いして、各JAの自己改革の取り組み内容をご説明し、ご意見を伺っています。

調査実施のなかで、3,193,640人もの組合員からご回答をいただきました。

いただいたご意見については、JAごとにとりまとめ、対応方向を検討し、今後の取り組みに活かしていきます。

〔 農業の担い手に向く専任部署の設置
または担当者配置するJAの割合 〕



〔 農業の担い手への訪問回数 〕 〔 営農指導員数 〕

年間 **160**万回超 **15,000**人超

〔JAの活動報告書 2018〕より抜粋

〔 「JAの自己改革に関する組合員調査」で
本年5月までに調査対象とした組合員数 〕

約 **481** 万人

〔 本年5月までにご回答を
いただいた組合員数 〕

約 **319** 万人

「JAの自己改革に関する組合員調査」の実施を通じた対話

「JAの自己改革に関するアンケート」では、JAの役職員が組合員宅を訪問したり、集落座談会の場を活用するなど、可能な限り直接お会いして、自己改革の取り組み内容をご説明しています。



組合員宅を訪問しての説明・調査実施
(JA西びわこ)



集落座談会や研修会等の場で説明・調査実施
(JAさが)

鹿児島県 JAあいら

組合員全戸訪問を毎月実施。
組合員の声に基づくJAの事業・活動の展開に取り組んでいます。

JAあいらは、組合員の全戸訪問活動を行っています。

訪問日は毎月第2土曜日の午前中で、2人1組を原則とし、各ペアが80戸程度を担当します。

職員が班に分かれてテーマなどを検討して訪問した後、再び支店に集合し、各自で実践報告を記入。その上で、班別・支店全体でミーティングを行い、訪問結果を共有します。

ほかにもさまざまな対話運動を進めています。これらの場を通じて出された意見・要望に対しては、「ご要望にお応えしました!」「現在取り組み中です!」「今後検討して参ります」などに区分し、広報誌やホームページを通じて公開しています。

H30年度下期に出された意見要望と今後の取組みについて

平成30年度下期に開催した、組合員・認定農業者の皆さまと語る会、各支部総会などにおいて、皆様より多くのご意見・ご要望を頂きました。それらに対する回答と進捗状況、今後の取組みについてまとめさせて頂きましたので、ご報告致します。



ご要望にお応えしました!

- Q** 農産でマルチを購入していますが、価格について努力をされ助かっています。今後も引き続き価格引き下げの努力をお願いします。

A 今後も、資材価格の低減に向けた取組みを行なっていきますので、引き続きご利用のほどお願い致します。
- Q** 国分広瀬のトマト選果場に石材店があり、廃棄する墓石が増え集荷場への出入りがしづらい状況です。何とかならないか。

A 処分場の関係等もあり廃材が貯留されていましたが、本年4月頃までに撤去する旨、石材店と協議をし確約を頂きました。
- Q** 農業後継者の育成の面からも、家庭を安定させることが重要なことであり、婚活イベントについては継続して開催してほしい。

A 婚活イベントについては、農業後継者対策の一環として、晩婚化、未婚化が進む独身農家男性に、女性と出会う場を提供することで、農業経営の安定化に資するとともに、地域の活性化を図ることを目的に、これまで4回開催し、39組のカップルが成立しました。結婚されたカップルも2組となり、組合員の方からも評価頂いていることから、今後も引き続き開催していきたいと考えております。また、新たな婚活イベントの開催についても検討していきます。
- Q** 横川のスーパーが開店したが、移動販売車を巡回してもらえないか。

A 1月25日より、移動販売車を新たに槻川管内に2ヶ所停車場を設定させて頂きました。今後利用者が増加するようであれば、さらに充実させることも検討致しますのでご利用方よろしくお願致します。

現在取組み中です!

- Q** 飼料米・加工米は助成金があり面積も増えているが、一般米を高く買って頂ければ決済サイトの問題もなくなるのではないかと。また、販売の方も頑張って頂きたい。

A 生産者の所得増大に向けた取組みとして、現在米の買取販売の強化に努めている所です。そのことからここ数年一般米の仮渡金の引き上げも実施させて頂いております。今後も引き続き販売先の確保を図りながら買取販売の強化に努め一般米の価格安定に努めて参ります。
- Q** 営農アドバイザー等による営農指導の充実に取り組んでいるが、新規就農者へのアドバイスや支援などについて、どのような取組み、考えがあるのか。

A 営農指導員や営農アドバイザーによる指導巡回やT A F（抱い手担当者）による定期的な訪問巡回を実施し、栽培指導や情報提供を行いながら様々な相談等に対応を行っております。また、新規就農者支援については、行政とも連携しながら支援を行っております。

JAあいら ホームページ掲載資料より抜粋

静岡県 JAとぴあ浜松

担い手農家との徹底した対話で、農業所得増大に挑戦しています。

JAとぴあ浜松では、営農アドバイザーと呼ばれる営農指導員が、継続的に農家経営をサポートとしています。30人の営農アドバイザーが、地域農業を担う農家を5軒ずつ選び、「3年間で農業所得30%アップ」を目標に取り組んでいます。



営農アドバイザーが農家を訪問

また、営農アドバイザーと融資担当者が合同研修会を行って情報を共有し、農家宅に同行訪問して、農家の事業拡大を具体化するなど、総合的な支援体制が地域農業の振興を後押ししています。

〔農業所得増大の達成状況〕
(2014～2016年度)

